

平成 22 年度事業の概要

平成 22 年度事業は、環境省補助事業地域活動支援事業（11,075,000 円）、群馬県受託業務として 3 事業、環境 GS 認定事業者等支援業務（4,373,820 円）、地球温暖化防止県民アクション配布及び集計業務（1,443,687 円）、地球温暖化防止活動推進員支援業務（631,439 円）を行いました。

環境省補助事業は一昨年の事業仕分けを受け、普及啓発ではない、温室効果ガスの削減を明確にできる事業を要求されました。そこで、平成 22 年度環境省補助事業地域活動支援事業と県受託業務（県民アクション）を連携させ事業展開しました。

それにより、事業における二酸化炭素の削減量を数値化しました。また事業の相乗効果を得ることで、県内の二酸化炭素排出削減の促進につながりました。

平成 22 年度環境省補助事業地域活動支援事業では、うちエコ診断事業、地球温暖化防止活動推進員派遣事業、地球温暖化防止団体連携強化事業の 3 事業を行いました。

うちエコ診断事業では、群馬県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）でうちエコ診断員 14 名を認定し 54 件のうちエコ診断を行い^{*1}実行CO₂削減量で、年間 55.8 t - CO₂/年を削減しました。

地球温暖化防止活動推進員派遣事業では、説明会（1 回）を開催し同事業の説明を行い、地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）230 人を対象にアンケートを実施し、推進員のデータベースを作成しました。また、年間 39 件の地球温暖化防止活動推進員派遣（出前講座、イベントでの活動）を行い、^{*2}273 t - CO₂/年を削減しました。

地球温暖化防止活動団体連携強化事業は県内の環境団体、消費者団体、企業、学校等に呼びかけ、2 回の全体交流会とグループ別（再生可能エネルギー、まちづくり、市民活動）交流会を開催しました。延べ 184 名が参加し^{*3}633 t /CO₂/年を削減しました。

群馬県受託業務として、今年度新たに環境 GS 認定事業者等支援業務を行いました。環境 GS マネージャー研修会を 2 回開催し 281 名の参加がありました。環境 GS 推進員の派遣は 81 件行いました。また、情報発信として、環境 GS ニュースを 3 回発行・配布し、センターホームページに環境 GS 認定制度のページをアップしました。

地球温暖化防止県民アクション配布及び集計業務は、県で実施する「ストップ温暖化！県民アクション」を県民へ普及する活動としてセンターでは 69,620 部配布し「ストップ温暖化！県民アクション」への参加者 7,792 名の取り組み結果の集計・分析を行いました。

また、県職員立会のもと、景品の川場村産こしひかり「雪ほたか」10kg の当選者 80 名を選出し景品を送付しました。県民アクションは 7,792 人が参加し一人あたり 526 g - CO₂/日の削減をしました。7,792 名の参加者が一年間この取組を行ったと仮定すると 1,497 t - CO₂/年の削減ができたこととなります。

地球温暖化防止活動推進員支援業務は、県内 5 カ所の県民局の単位に分け地区研修を

5回行いました。推進員研修への推進員等の参加者は延べ99名でした。

その他、NPO 法人地球温暖化防止ぐんま県民会議自主事業として群馬大学工学部主催のアースデイ in 桐生 2010 (4月11日)、環境フォーラム沼田 (7月4日)、伊勢崎環境フェスティバル (9月26日)、ぐんま環境森林フェスティバル (10月24日) 沼田温暖化ワークショップ (12月5日)、グリーンエコフェスタ (1月23日) に参加しました。

また、昨年まで環境省委託事業として行われていた、一村一品知恵の環づくり事業は本年度東京電力㈱、トステム㈱、一般社団法人地球温暖化防止全国ネットが主催となって2月5日・6日に東京大学安田講堂で全国大会が開催されました。センターでは全国大会に粕川フラワーロードの会を推薦し大会に参加しました。

*1について、うちエコ診断のデータはJCCCA作成うちエコ分析シートへデータ入力すること

でパソコン処理をされます。それにより計算された、うちエコ診断により実行されたCO₂の削減量をそのまま記載しています。

*2、*3について、下記平成22年度県民アクション取り組み成果表、区分1の年間CO₂削減

量の推計が*2、区分2の年間CO₂削減量の推計が*3です。